

令和5年度「①地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業」及び
「②地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講」の実施報告

宮崎国際大学 地域連携センター

①	連携先名称	宮崎県西都市
	課題、目標	西都市では、平成21年度より、英検受験を希望する中学2年生及び3年生に対し、年1回受験料の全額補助を行っているが、合格率が上がらないことが課題であった。そのため、語学への関心と共に合格率を向上させることを目標として、令和3年度より本学と連携し、英語教育のスキルアップ研修や英検対策特別講座を実施している。
	取組内容	本学の国際教養学部及び教育学部の教職課程学生を講師として派遣し、西都市の中学生を対象に英検3級一次試験及び4級の対策講座を実施している。指導開始前の8月下旬には、西都市教育委員会の講師によるオリエンテーションを実施し、9月上旬に第1回講座をオンラインで行った。その後、各中学校の希望者を対象に、3級一次試験対策講座を2回、また4級対策講座を2回実施した。
	取組成果	本取組を実施したことにより、受験率と合格率の向上が見られた。令和2年度は補助を受けた生徒の合格率【4級65%、3級以上39%】に対し、令和3年度では合格率【4級67%、3級以上49%】であった。さらに、令和4年度では合格率【4級77%、3級73%】となり、本学学生による中学生への英検対策指導は大変効果的であったと考える。
②	連携先名称	宮崎県西都市
	学部・学科	国際教養学部 比較文化学科
	開講目的	本学では、地域に根差し社会に必要とされる大学を目指し、PBL科目「日本の地域文化」を開講している。本科目の目的は、自分たちが暮らす地域社会の諸課題について学ぶと共に、具体的な解決策等を学生の視点で話し合い、立案し、実際に課題解決に貢献できる取組へと繋げることである。フィールドワークの基本や、環境保全、地域の文化・芸術の保護、観光、経済発展、地域振興におけるICT利活用などについても広く学び、自治体・団体と連携しながら持続可能な地域発展に向けた取組の開発に寄与する。
授業等内容	「日本の地域文化」はフィールドワークを中心とした科目である。公共政策、インフラ、観光などを担当する自治体職員が事前講義を行い、地域の歴史、持続可能な開発への取組、調査対象地域の今後の発展に対する懸念や課題などを説明する。これらの知識を基に、学生は提示された課題について、国内外の類似事例を比較しながら、自ら調査を行う。さらに学生は、講師の指導の下フィールド調査を行い、予備講義で紹介された様々な取組やプロジェクトについて各責任者と協議する。各々が学んだことについて話し合う時間は十分確保されており、小グループに分かれて協力機関・団体の職員に対しプレゼンテーションを行う。発表した際の意見等は、プレゼンテーション資料や報告書に反映し、最終的には科目担当教員に提出され、成績評価される。	
授業等成果	先述のとおり、PBL科目「日本の地域文化」では、地域社会が抱える諸課題について、それらの解決策等を学生が新たな視点で立案し、自治体や企業等従事者に提示することで、課題解決に繋げると共に、地域の発展に貢献することを目的としている。今年度の授業では、人口が減少している町で集客を呼び込むための「国際交流イベント」、英語力向上のための「子ども英会話教室」、増加する外国人住民のための「日本語教育」など、宮崎国際大学の学生ならではの取組が立案され、特色あるまちづくりとグローバル化の促進をはかる西都市の関係者を対象に、プレゼンテーションを行った。学生は自治体関係者からのフィードバックを基に、企画内容を改善し、PBL体験をまとめたレポートを提出することで最終評価を受けた。	